

平成 27 年 6 月 9 日

チーム関係者各位

新潟市ミニバスケットボール連盟
会 長 小澤 勝美
理事長 近藤 秀之

ゾーンディフェンスの禁止について (3)

向夏の候皆様におかれましてはご清栄の事とお喜び申し上げます。

日頃、新潟市ミニバスケットボール連盟の活動に対し、ご理解とご協力を頂きまして心から感謝申し上げます。

1 月 30 日「ゾーンディフェンスの禁止 (1)」5 月 16 日「ゾーンディフェンス禁止について (2)」を当連盟では発表いたしました。

その後、6 月 2 日”JAPAN 2024 TASK FORCE”の「最終提案のプレスリリース (リンク先参照の事)」を発表後、日本バスケットボール協会が 6 月 4 日「最終提案の受け入れ」を発表しましたことを受けて、当連盟主催の大会では以下の事を実施いたします。

(補足：リンク先のミニバス (U12) に関する項目は 13 ページ中 5 ページ目に記載があります。)

1. 連盟加盟チームへの段階的な指導の周知と言う事で、5 月 16 日「ゾーンディフェンスの禁止について (2)」内の“マンツーマンディフェンスとは“をルールとする。期限は「平成 27 年 春季新潟市ミニバスケットボール大会」終了までとするが、ルール化した内容 (DVD) の発表があった場合は大会期間中でもルールの適用を行う。その際は速やかにホームページで発表する事とする。
2. 「最終提案」内には罰則規定が (例) となっているので、現在の段階では効力を持たないが、6 月 20 日以降の 1・2 回戦トーナメントからコミッショナーを複数人配置し、試合の途中でも時間を止めて指導を行う。コミッショナーは発表以降、専門委員会の設置を行うが、「平成 27 年 春季新潟市ミニバスケットボール大会」においては大会役員が兼務する。判断の優先順位はコミッショナーを審判よりも上位とする。1 と同様に罰則規定などが発表のあった場合は速やかに大会に反映する。
3. 既に発表の通り、県大会への推薦を行わない場合もある。判断基準は「指導を複数回受けた場合 (単一ゲームで複数回ではなく、大会を通じて複数回)」とするが、大会終了後、大会役員によってすみやかに協議会を開催し、推薦チームを決定する。

以上